

～地元の「南三陸杉」を用いた木造建築による商店街～

南三陸町歌津地区の常設商店街「南三陸ハマレ歌津」竣工 建築家 隈 研吾氏の設計による観光交流施設が誕生

《ニュースポイント》

ナイス株式会社(社長:平田 恒一郎、本社:神奈川県横浜市)は、宮城県南三陸町歌津地区において建設に携わってきた仮設商店街「伊里前福幸商店街」の移転新築工事(事業主:株式会社南三陸まちづくり未来、工事名称:南三陸歌津地区観光拠点新築工事)を3月25日に竣工しました。同施設が本日、「南三陸ハマレ歌津」と名称を新たに常設商店街としてオープンを迎えましたのでお知らせいたします。

南三陸ハマレ歌津は、東日本大震災の津波により被災した伊里前商店街があった場所に誕生します。建設地は国道45号沿いの5メートル程嵩上げされた海拔約7メートルの高台造成地(約5,200㎡)で、近くには小中学校や防災集団移転団地などもあり、同施設は地域コミュニティーの中核的機能を担いつつ、高アクセス性を生かした観光交流拠点となります。

同工事の設計は、世界的な建築家である隈研吾氏が手掛けています。建物は、木造平屋建ての店舗施設(延べ床面積:672.79㎡)で、弊社グループオリジナルの金物接合を用いた木造軸組工法(パワービルド工法)が採用されています。建物は、景観になじむよう切妻屋根となっており、商品が陳列しやすいよう下屋の軒下を大きく

跳ね出したデザインが特徴です。棟の中央部分には開放感のある休憩スペースが設けられ、その東西方向に配置された棟には飲食や衣料品店など8店舗が outlets します。

来訪者の手に触れる部分にはできるだけ地元の木材を使いたいという隈氏の意向を受け、外壁及び下屋部分のポーチ柱には、その木肌の美しさで知られる地元の「南三陸杉」を用いています。外壁については、地元の製材事業者である丸平木材(株)にて製材され、木肌の色味がより美しく出るよう低温乾燥が施された製品が用いられました。ポーチ柱については、(株)山にて製品化されたJAS機械等級区分製材品を使用しています。

弊社は、同工事において地元建設会社である志津川建設株式会社と山庄建設株式会社とで組成した「ナイス・志津川・山庄 特定建設工事共同企業体」の代表として参画したほか、木質化企画や材料調達、構造躯体材のプレカット加工、施工などに携わりました。

弊社は引き続き、国内最大規模となる木材流通プラットフォームを生かし、地域に根差した建築物の木造化や木質化の取り組みを通じて被災地の復興にお役立ちするとともに、国産材の利用拡大と地域経済の活性化に貢献してまいります。



地元「南三陸杉」が多彩に用いられた木材店舗施設

<工事概要>

工 事 名	南三陸町歌津地区観光交流拠点新築工事	設計監理	隈研吾建築都市設計事務所
所 在	宮城県本吉郡南三陸町歌津字伊里前96番地1	施 工	ナイス・志津川・山庄 特定建設共同企業体 (地元建設会社の志津川建設株式会社及び山庄建設株式会社と 共に組成した特定建設共同体で弊社が代表となります。)
着 工 日	2016年10月19日	構 造	木造・平屋建て
竣 工 日	2017年3月25日	規 模	1棟672.79㎡(203.52坪)
事 業 主	株式会社南三陸まちづくり未来		



建物の外壁及び下屋部分のポーチ柱に地元の「南三陸杉」が使われ、温かみある空間を演出

<参考①> 「南三陸ハマレ歌津」について

前身となる「伊里前福幸商店街」は、東日本大震災後の2011年12月に、地元の事業者らにより開設された仮設商店街です。地元向けの商店が並ぶアットホームな商店街として地元住民をはじめ観光客で連日賑わいを見せています。

このたび移転開業した常設商店街「南三陸ハマレ歌津」には、飲食、鮮魚、衣料店など8店が出店します。新名称である「南三陸ハマレ歌津」は公募により102件の中から決定したもので、「仲間になる」という意味の方言「はまる」に、歌津地区に多い「浜」、イタリア語で海を表す「マーレ」を掛け合わせたものとなっています。



移転新築前の仮設商店街「伊里前福幸商店街」

<参考②> 「さんさん商店街」について

南三陸町志津川地区「さんさん商店街」は、東日本大震災における津波被害により2012年から仮設商店街として運営されていたものが、8.3メートルかさ上げされた高台造成地に移転新築され、今年3月3日にオープンした常設商店街です。仮設からの移転が23店舗、新規が5店舗の合計28店舗が出店し、南三陸町の復興のシンボルとして観光交流拠点の中核を担っています。

「さんさん商店街」と「南三陸ハマレ歌津」は、安全・安心かつにぎわいのある市街地形成を目指し、観光客需要を喚起することを目的とした「南三陸まちなか再生計画」に基づくもので、どちらも南三陸町のランドデザインを手掛ける建築家の隈研吾氏が設計を手掛けています。

「さんさん商店街」は、南三陸の美しい海を望めるよう配棟された木造の店舗施設7棟で構成され、弊社グループオリジナルの金物接合による木造軸組工法（パワービルド工法）が採用されています。

建物には国産木材が多用され、外壁及び縦格子ルーバー、下屋部分のポーチ柱には地元の「南三陸杉」が用いられ、店舗内装においても木質化が図られるなど、ふんだんに木質感が醸し出された空間となっています。

弊社は、「さんさん商店街」の移転新築工事においても、「ナイス・志津川・山庄 特定建設工事共同企業体」の代表として参画すると共に、木質化企画や材料調達、などに携わりました。



今年3月にオープンした「さんさん商店街」



木質感あふれる店舗内観